



神田に2004年に完成した「岩本町ほほえみプラザ」は、地下2階地上15階の複合施設(高齢者介護支援施設、地域利用施設、賃貸住宅)です。

1993年まで今川小学校だった敷地からは、主に江戸時代後期の町家跡が発掘されました。九尺二間(間口2.7m奥行3.6m)の部屋が連なる裏長屋や土蔵、上下水道跡などは、狭くて密集しながらも、職人や商人などの町人がこの地に生き活きとして暮らしていたことを伝えるものでした。

そこで、建物前広場には神田ならではの趣向が凝

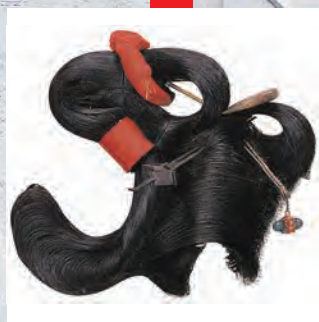
御城下町神田

「じょうかまちかんだなぞときじょう」

謎解講

らされました。土蔵の礎石を使って「今様くぐり門」(バーゴラ)、レンガ造りの坪庭(ポケットパーク)、江戸の子どもが遊んだ泥面子(拡大再現)、建物正面の柱4本には「江都絵解・鯨絵」「江都絵解・武蔵野」「江都絵解・お玉ヶ池」「江都絵解・武蔵野」の柱彫り(レリーフ)。

鯨や蛙、団十郎に顕微鏡、口々小紋、将門、本田齋...これがどうして神田に登場するのでしょうか。残念ながら作者・坂上直哉氏は、昨年亡くなってしまいました。が、皆さんと『御城下町神田謎解』と題する一連のワークの謎解きを楽しみます。



絵解き



神田解き

謎解き

心意気

